

## 消化器症状で始まったレジオネラ肺炎の一例

淡路市・栗田医院 栗田 哲司（医師）

4類感染症であるレジオネラ症は開業医には馴染みの少ない疾患です。しかしレジオネラ肺炎は急速に進行し重症化して致命的となる場合があります、日常診療においては念頭に置く必要があります。

診断に関しては平成15年に保険適用になった尿中レジオネラ抗原検査が重要な役割を果たします。

2年前に温泉施設で感染したレジオネラ肺炎の1例を報告しました。今回は畑作業中に粉塵を吸入して感染し、夜間頻尿、嘔吐・下痢の消化器症状と発熱で発症したケースです。胸部CT検査で肺炎を指摘されたため尿中レジオネラ抗原検査を提出していたおかげで、重篤化する直前に軽快した1例を経験しました。

日常診療の参考になればと思い症例提示します。